

## パテック フィリップ ジュネーブ

2022年11月

### パテック フィリップは、グランド・コンプリケーションをジュエル・セッティングの芸術と結びつけた4点の例外的なニューモデルを発表し、現行コレクションをさらに充実させる

ジュネーブのマニュファクチュール パテック フィリップは、当社の最も複雑な腕時計であるグランドマスター・チャイム6300モデルに、燦めくバゲットカット・ダイヤモンドとバゲットカット・ブルーサファイヤをそれぞれセッティングした2点の新しいハイジュエリー・バージョンを発表する。また永久カレンダー搭載クロノグラフ5271モデルには、それぞれバゲットカット・ブルーサファイヤ、バゲットカット・ルビーで飾られた2点の新しいジュエリー・バージョンが登場する。これらの洗練された作品は、いずれもパテック フィリップのグランド・コンプリケーションの技術的卓越性と、きわめてエクスクルーシブなジュエル・セッティングの芸術を組み合わせている。

ジュエル・セッティングは、ジュネーブのパテック フィリップ・ミュージアムに展示されたオールド・コレクションが如実に示すごとく、彫金、クロワゾネ七宝、七宝細密画などの他の希少なハンドクラフト技術と共に、常にタイムピースを装飾するために用いられてきた。1839年の創業以来、マニュファクチュール パテック フィリップは、多くの作品をジュエル・セッティングにより装飾してきた。例えばヴィクトリア女王が1851年のロンドン万国博覧会で購入したペンダント・ウォッチ (No. 4719) は、ローズカット・ダイヤモンドで装飾されている。マニュファクチュール パテック フィリップは、婦人用の華麗なジュエリー・ウォッチを創作するのみでなく、最も洗練された複雑な機械式タイムピースのジュエリー・バージョン、ハイジュエリー・バージョンも提供している。そして今回、4点のニューモデルがこれらのグランド・コンプリケーション・コレクションに加わったのである。その完璧なデザインは、パテック フィリップ・シールに準拠した最高の品質、カット、セッティング技術による貴石によってさらに引き立てられている。これらの作品は、パテック フィリップの現行コレクションの卓越したタイムピースのラインナップをさらに豊かにするであろう。ムーブメントとケースの複雑さ、および最高の職人がスキルと経験を生かし、細心の配慮を注いで行うジュエル・セッティングを考慮し、その年間製作個数は限定されたものとなる。

### パテック フィリップ・グランドマスター・チャイム・ハイジュエリー 6300/400G-001および6300/401G-001モデル

2014年、創業175周年を記念してマニュファクチュール パテック フィリップが創作し、全面に手彫金による装飾を施されたローズゴールド仕様のリミテッド・エディション、パテック フィリップ・グランドマスター・チャイムは2016年、現行コレクションに登場した。2019年からは、2つのブルー・オーバーリン文字盤を備えたホワイトゴールドのバージョン (6300G-010モデル) がラインナップされている。

今回、パテック フィリップは、このマスターピースが誇る高度な機械的性能へのトリビュートとして、ホワイトゴールド仕様の2点の新しいハイジュエリー・バージョンを発表する。6300/400G-001モデルは、ケース、2つのベゼル、折り畳み式バックルに合計409個のバゲットカット・ダイヤモンド (31.35カラット) がセッティン



## 《報道資料》 ページ 2

グされている。6300/401G-001モデルは、前面ベゼルとバックルに118個のバゲットカット・サファイヤ（11.9カラット）、裏面ベゼルとケースに291個のバゲットカット・ダイヤモンド（20.54カラット）がセッティングされている。これらの希少な貴石をさらに引き立てているのは、ケース側面、ラグ側面、反転リンクを輝かせる《インビジブル・セッティング》と呼ばれる高度に洗練されたセッティング技法である。

両面に文字盤を備えたリバーシブル・ケースは、特許取得のシステムにより容易に反転させることができ、自由にいずれかの文字盤を上にして着用することができる。両面のゴールド文字盤はエレガントなエボニーブラック・オパール・カラーで彩られ、前面文字盤には手仕上げのギョシェ装飾による《クルー・ド・パリ》(ホブネイル・パターン) モチーフが施されている。タイムピースは、コントラストを持たせたクリーム（6300/400G-001）またはブルー（6300/401G-001）のステッチが特徴のブリリアント・ブラック・アリゲーター・バンドと組み合わせられている。

20の複雑機能を擁するこのモデルは、パテック フィリップの現行コレクションの中で、最も複雑な腕時計である。3つのゴングによるチャイム機構は、グランドソヌリ、プティットソヌリ、ミニット・リピーターと、チャイムによるアラーム、今日の日付を好きな時にチャイムで知らせるデイトリピーターという、2つの特許取得の世界初の機構からなる、5つのチャイム・モードを備えている。1,366個の部品で構成される手巻ムーブメント、キャリバー 300 GS AL 36-750 QIS FUS IRMには、特許取得の4桁の年表示を含む永久カレンダーも搭載されている。

このタイムピースには、外周に1列のバゲットカット・ダイヤモンド（6300/400G-001）またはバゲットカット・ブルーサファイヤ（6300/401G-001）をセッティングしたホワイトゴールドのカフリンクスが付属している。ホワイトゴールドのエボニーブラック・オパール・センターには、手仕上げのギョシェ装飾による《クルー・ド・パリ》(ホブネイル・パターン) モチーフとパテック フィリップを象徴するカラトラバ十字を配している。

## 永久カレンダー搭載クロノグラフ 5271/11P-010および5271/12P-010モデル

1941年に1518モデルが発表されて以来、永久カレンダー搭載クロノグラフは、パテック フィリップの偉大なクラシックとしての地位を確立している。2011年には、このきわめて追い求められるタイムピースに、マニュファクチュールによる完全自社開発・製造のキャリバー CH 29-535 PS Qが搭載された（5270モデル）。そして2014年、パテック フィリップはこれを新たに解釈し、バゲットカット・ダイヤモンドをセッティングしたプラチナ仕様のバージョンを発表した（5271P-001モデル）。カラー・ジュエルがセッティングされた2点の新しいジュエリー・バージョンは、この洗練された機構に比類のない輝きを与えている。

新しい5271/11P-010モデルは、ベゼル、ラグ、折り畳み式バックルにセッティングされた80個のバゲットカット・ブルーサファイヤ（5.16カラット）と、外周に向かって濃くなるブラック・グラデーションのラック・ブルー文字盤が際立っている。溝の入ったラグのスリムなプロフィールは、5つの異なるサイズのバゲットカット・サファイヤによって強調されている。コントラストを持たせたブルーのステッチを配したブリリアント・ブラック・アリゲーター・バンドが、このジュエリー・バージョンの洗練されたエレガンスを完璧なものとしている。

新しい5271/12P-010モデルは、ベゼル、ラグ、折り畳み式バックルにセッティングされた80個のバゲットカット・ルビー（5.25カラット）が比類のない輝きを与えている。外周に向かって濃くなるブラック・グラデー



## 《報道資料》 ページ 3

ションのラック・レッド文字盤、ブリリアント・ブラックのアリゲーター・バンドとコントラストを持たせたレッドのステッチが、ルビーの深みのある色彩を反映している。

2点のタイムピースのプラチナ・ケースは全面がポリッシュ仕上げされ、ハーモニー溢れるプッシュボタンは、側面がサテン仕上げ、上面がポリッシュ仕上げとなっている。いずれのモデルも、パテック フィリップのプラチナ・モデルに共通な特徴として、ケース側面の6時位置のラグ間にブリリアントカット・ダイヤモンドがセッティングされている。

キャリバー CH 29-535 PS Qは、その伝統的なアーキテクチャー（手巻、コラムホイール、歯車による水平クラッチ）と、クロノグラフに関する特許取得の6つの技術革新、およびきわめて薄いカレンダー機構（部品数182個、厚さわずか1.65 mm）を特徴としている。サファイヤクリスタル・バックを通してムーブメントの精緻な仕上がりを鑑賞することができ、これは付属のソリッド・ケースバックと交換することもできる。

### 《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

広告・広報部 部長

大塚 和泉

電話：03 - 5209 - 8018（直通）

FAX：03 - 3256 - 7558

[izumi@ppjapan.com](mailto:izumi@ppjapan.com)

### 《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電話：03 - 3255 - 8109

パテック フィリップ ホームページ：<https://www.patek.com>

